

6年 英語コミュニケーション能力育成のための指導のポイント

月	No	単元名・活動名	単元目標	主な言語材料	コミュニケーション能力育成のためのポイント
4	1	【Lesson 1】	・積極的にあるものを持っているかどうかを尋ねたり答えたりしようとする。 ・3 1～1 0 0 の数の言い方やアルファベットの小文字、ある物を持っているかどうかを尋ねる表現に慣れ親しむ。 ・世界には様々な文字があることを知る。	Do you have ~ ? Yes,I do. No,I don't.	・日本語の漢字は「表意文字」だが、アルファベットは「表音文字」で、組み合わせによって意味のある単語になることに触れてもよい。
	2	Do you have “a”?			
	3	アルファベットクイズを作ろう ・数えよう ・小文字を読もう ・アルファベットゲームをしよう ・アルファベットクイズを作ろう			
5	4	【Lesson 2】 When is your birthday? 友達の誕生日を調べよう世界の行事を知ろう ・月や日の言い方を知ろう ・誕生日を尋ねよう ・誕生日を調べよう	・積極的に誕生日を尋ねたり答えたりしようとする。 ・英語での月の言い方や誕生日を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 ・世界と日本の祭りや行事に興味をもち、時期や季節の違いに気付く。	When is your birthday ? My birthday is March eighteenth.	・自分の名前を言うとき、“My name is ~.”だけでなく、“I’m ~.”と言ってもよいことに触れる。
	5				
	6				
6	7	【Lesson 3】 I can swim. できることを紹介しよう できることを見つけよう できることを見つけよう できることを伝えよう 自己紹介しよう	・積極的に友達に「できること」を尋ねたり、自分の「できること」や「できないこと」を答えたりしようとする。 ・「できる」「できない」という表現に慣れ親しむ。 ・言語や人、それぞれに違いがあることを知る。	I can/can’t ~ . Can you ~ ? Yes,I can /No,I can’t.	・インタビューの前に、友達の回答を予想させ、確かめるために尋ねたいという必要感をもたせる。 ・全ての質問に “No, I can’t.” と答えそうな児童には、“Yes, you can ~.” と声をかけ自信をもたせるように支援する。 ・出会った時の “Hi.” や別れる時の “Thank you.” “Bye.” などの挨拶も大切にする。 ・自信をもって「できる」と言えるものが少ない児童がいるということも考慮し、思春期を迎え自尊感情が揺れ動く時期でもあるので、児童の自信を失わせないことが必要である。 ・“You can ~.” と伝え合う活動を取り入れ、自分ができることを前向きに考えられるように活動を取り入れる。 ・児童が自信をもって自分ができるようを紹介したり、それを互いに温かく認め合ったりするような活動にしていく。
	8				
	9				
	10				
7	11	【Lesson 4】 Turn right. 道案内をしよう ・何の建物か当てよう ・道を聞かれたらどうしよう ・道案内をしよう	・積極的に道を尋ねたり、道案内したりしようとする。 ・目的地への行き方を尋ねたり言ったりする表現に慣れ親しむ。 ・英語と日本語とでは、建物の表し方が違うことに気付く。	Where is the school? Go straight. Turn right/ left.	・道を尋ねる時は、“Exeuse me, where is ~?” と声をかけられる。 ・教えてもらったら “Thank you.” とお礼を言う。 ・道を尋ねられてわからなくとも、“I’m sorry. I don’t know.” などときちんとやり取りすることが大事なことを伝える。
	12				
	13				
9	14	【Lesson 5】 Let’s go to Italy. 友達を旅行にさそおう ・世界の国の呼び方を知ろう ・行ってみたい国はどこ？ ・行きたい国を聞いてみよう ・おすすめの国を紹介しよう	・自分の思いがはっきり伝わるように、おすすめの国について発表したり、友達の発表を積極的に聞いたりしようとする。 ・行きたい国について尋ねたり言ったりする表現に慣れ親しむ。 ・世界には様々な人たちが様々な生活をしていることに気付く。	Where do you want to go? I want to go to Italy. Let’s go.	・国旗に込められている建国の思いを知ることにより、国旗を大切にする態度を育てる。 ・国旗の成り立ちや意味についての調べ学習を行い、話し合うことで世界への興味をもたせる。 ・ゲームなどを通して、国名の言い方、“Where do you want to go?” “I want to go to ~?” の表現に十分慣れ親しんでおく必要がある。 ・行きたい国とともに理由を紹介し合うことで人によって感じ方や思いが違うことに気付かせたり、友達の新しい一面を知ったりする機会としたい。 ・チャンツを何度も言うことで、“I want to ~.” の表現に慣れ親しませる。 ・児童の実態に合わせて “I like ~.” という表現も認める。
	15				
	16				
10	17	【Lesson 6】 What time do you get up? 1 日の生活を紹介しよう ・何時か当てよう・先生の 1 日を当てよう ・時差を知ろう・友達の生活の時刻を知ろう ・自分の 1 日を紹介しよう	・積極的に自分の一日を紹介したり、友達の一日を聞き取ったりしようとする。 ・生活を表す表現や、一日の生活についての時刻を尋ねる表現に慣れ親しむ。 ・世界には時差があることに気付き、世界の様子に興味をもつ。	What time do you get up? I get up at seven.	・世界の都市や時刻、その時の行動を知ること、世界では様々な生活をしていること、私たちもその一員であることを感じさせる。 ・時刻の表現に加えて、生活での動作を表す表現は高度であるので、活動は抵抗を減らすためいくつかにしぼる。
	18				
	19				
	20				
11	21	【Lesson 7】 We are good friends. オリジナルの物語を作ろう ・お話を聞こう ・何の物語か聞き取ろう ・物語のあらすじを作ろう ・物語を演じてみよう ・物語を発表しよう	・積極的に英語で物語の内容を伝えようとする。 ・まとまった英語の話を聞いて、内容がわかり、場面に合ったセリフを言う。 ・世界の物語に興味をもつ。	We are strong and brave. We are good friends.	・コミュニケーションは「話す」ことというより、相手の話を「聞く」ことから始まるので、聞いて相手の話していることがわかる体験を児童にたくさんさせる。 ・絵本の読み聞かせの仕方を工夫する。 ・ジュスチャーをつけ表情豊かに読む。 ・絵本の絵や筋について時折質問しながら絵本の世界に引き込むようにする。 ・発問しながらページをめくるなど話の展開に興味をもたせる。
	22				
	23				
1	24	【Lesson 8】 What do you want to be? 「夢宣言」をしよう ・そんな仕事か当てよう ・何になりたいか考えよう ・友達の夢について知ろう ・自分の「夢宣言」をしよう	・積極的に自分の将来の夢について交流しようとする。 ・どのような職業に就きたいかを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 ・世界には様々な夢をもつ同年代の子どもがいることを知り、英語と日本語での職業を表す語の成り立ちを通して、言葉の面白さに気付く。	What do you want to be? I want to be a ~.	・ “Nice dream.” “Good dream.” “Fantastic dream!” “Good luck!” “Thank you.” ・互いに気持ちのよいコミュニケーションがとれるつなぎ言葉を大切にする。
	25				
	26				
2	27	【Lesson 9】 What do you like to do? 「好きなこと」をしよう ・好きなことを当てよう ・好きなことを発表しよう ・好きなことを聞いてみよう ・好きなことを聞いてみよう	・積極的に自分の好きなことを発表したり、友達から好きなことを聞いてみようとする。 ・好きなことを発表するときに、自分の好きなことを詳しく説明しようとする。 ・好きなことを発表するときに、自分の好きなことを詳しく説明しようとする。	What do you like to do? I like to do ~.	・ “Nice dream.” “Good dream.” “Fantastic dream!” “Good luck!” “Thank you.” ・互いに気持ちのよいコミュニケーションがとれるつなぎ言葉を大切にする。
	28				
	29				
3	30	【Lesson 10】 What do you want to be? 「夢宣言」をしよう ・そんな仕事か当てよう ・何になりたいか考えよう ・友達の夢について知ろう ・自分の「夢宣言」をしよう	・積極的に自分の将来の夢について交流しようとする。 ・どのような職業に就きたいかを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 ・世界には様々な夢をもつ同年代の子どもがいることを知り、英語と日本語での職業を表す語の成り立ちを通して、言葉の面白さに気付く。	What do you want to be? I want to be a ~.	・ “Nice dream.” “Good dream.” “Fantastic dream!” “Good luck!” “Thank you.” ・互いに気持ちのよいコミュニケーションがとれるつなぎ言葉を大切にする。
	31				
	32				
3	33	【Lesson 11】 What do you want to be? 「夢宣言」をしよう ・そんな仕事か当てよう ・何になりたいか考えよう ・友達の夢について知ろう ・自分の「夢宣言」をしよう	・積極的に自分の将来の夢について交流しようとする。 ・どのような職業に就きたいかを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 ・世界には様々な夢をもつ同年代の子どもがいることを知り、英語と日本語での職業を表す語の成り立ちを通して、言葉の面白さに気付く。	What do you want to be? I want to be a ~.	・ “Nice dream.” “Good dream.” “Fantastic dream!” “Good luck!” “Thank you.” ・互いに気持ちのよいコミュニケーションがとれるつなぎ言葉を大切にする。
	34				
	35				